
CFA[®] Newsletter

金融・投資関連 参考情報ニュースレター

No.005 2009 年 SUMMER

Contents

Topics

1. 米証券取引委員会が諮問委員会メンバーに CFA 協会 Kurt Schacht 氏を指名
2. CFA 協会が会員に空売りに関するアンケートを実施

CFA News & Trend

1. CFA 協会第62回年次大会開催、日本CFA協会ヤン会長が理事に就任
2. 金融危機を背景にしたCFAセンターの施策について

CFA People

1. 日本 CFA 協会理事 尾藤 峰男
2. 日本 CFA 協会 イベントのご案内

本ニュースレターでは、世界の公正な投資市場をリードする専門資格「CFA[®] (Chartered Financial Analyst[®])」の認定・推進機関である CFA 協会の活動から、情報をお届けいたします。取材の参考資料としてご活用いただくことができれば幸いです。

[本資料に関するお問い合わせ先]

日本 CFA 協会 広報担当:松原
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 1-3-8 共同ビル(昭和)
Tel 03-3517-5471/Fax 03-3517-5472

広報事務局(株)ジャパンピーアールビジョン
担当:福嶋貴徳/築比地一晃
〒104-0061 東京都中央区銀座 5-10-6 御幸ビル
Tel 03-3574-6591/Fax 03-3574-0056
fukushima@jprv.co.jp/tsuihiji@jprv.co.jp

1. 米証券取引委員会が諮問委員会メンバーに KURT SCHACHT 氏を指名

6月、米証券取引委員会（SEC）では、Luis A. Aguilar SEC コミッショナーを発起人とする投資家諮問委員会を組織することを発表しました。メンバーにはCFA協会マネージング・ディレクターのKurt Schacht氏をはじめ、金融・投資業界から著名なメンバーが選出されました。

SECは今後諮問委員会より金融新商品、取引戦略、手数料構成、ディスクロージャーの効果、その他諸問題についての貴重な見解を得ることが期待されます。また投資家の擁護者としての伝統的役割が、諮問委員会の多面的な見解をより強固にすると考えられます。

その他、諮問委員会では以下のような提言を行います

1. 証券市場における投資家の懸念事項など諸問題についての提言
2. 規制に関する投資家の現状認識の提供
3. 委員会の規制プログラムに対する投資家視点による情報提供や推奨

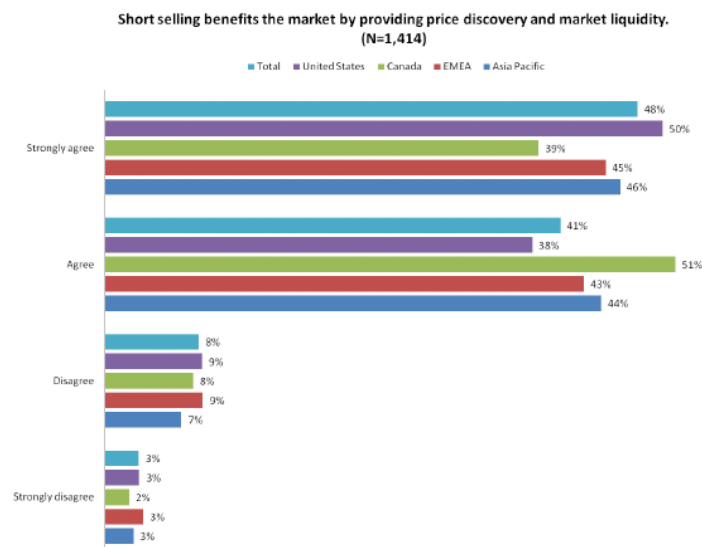
詳しくはSECのウェブサイトをご覧ください。

<http://www.sec.gov/news/press/2009/2009-126.htm>

2. CFA センターが会員に「空売り」に関するアンケートを実施

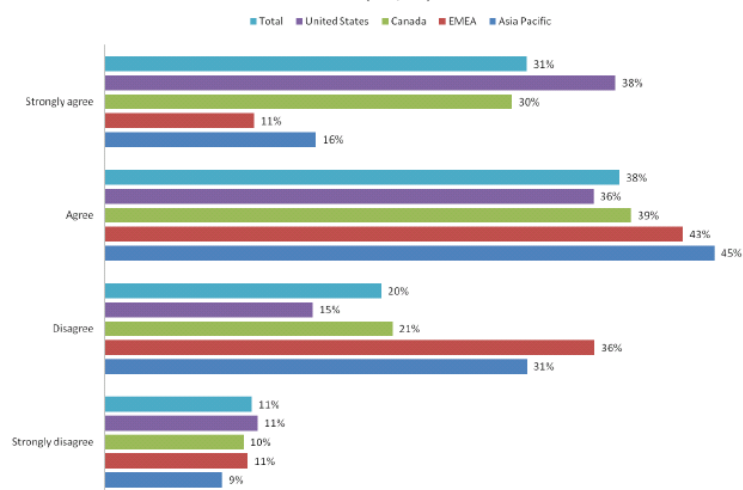
2008年10月の金融危機以降、グローバルな監査機関が一定の分野や市場での空売りを一時停止させる動きに対して、CFAセンターではCFA会員約2万人にアンケートを実施、1,417名から回答を得ました。

空売りの根本的な意義に関する問いかけに対して、空売りは価格開示や市場流動性により市場に利益をもたらすと、「強く同意」「同意」している割合は全体で9割に及び、なかでも米国、カナダでは、それぞれ88%、90%に及びます。



また 2007 年米市場における「アップティック・ルール」の廃止について、空売りが市場の変動に対して抑制と均衡を保つのに役立つと 31%が「強く同意」しており、「同意する」と答えた会員を合わせると約 7 割が支持しています。アメリカ、カナダ地域が 38、31%とそれぞれ強く同意している一方、アジア・太平洋地域やヨーロッパ・アフリカ地域では 16、11%とそれぞれ低いのが特徴です。

The 2007 repeal of the so-called "uptick rule" in U.S. markets as the main check and balance on short selling contributed to market volatility in the shares of financial services firms. (N=1,406)



詳しくは CFA 協会のウェブサイトをご覧ください。

http://www.cfainstitute.org/aboutus/press/pdf/short_selling_survey_results_2009.pdf

News and Trend

1. CFA 協会第 62 回年次大会開催 日本 CFA 協会ヤン会長が理事に就任

CFA 協会の第 62 回年次大会が、4 月 26 日から 29 日まで、米国フロリダ州オーランドにて開催されました。今年は前年より減少したとはいえ、世界 62 カ国から 1000 名以上の参加者が、ディズニー・ワールドの中にあるディズニーズ・コンテンポラリー・リゾートホテルに集いました。今年のテーマは「長期的な投資の成功を導く辛抱の原則 (Enduring Principles for Long-term Investment Success)」で、著名な講演者が多数参加し、世界的な金融危機と景気後退の中での運用戦略の再構築に焦点を合わせた時節に適った議論が繰り広げられました。以下、主な基調講演者の講演内容を簡単に紹介します。

- ・ ノーリエル・ルビニ、ニューヨーク大学スターン・スクール・オブ・ビジネス教授は、世界的に発生したシステムック・リスクを振り返り、今弱気相場のラリーが続いている理由について語りました。
- ・ ウィリアム・プール前セントルイス連銀総裁は、緊急援助経済の不安定さについて語り、緊急援助を終焉させるには公的な政策が不可欠との見方を示しました。

・ マーヴィン・ゾニス、シカゴ大学ブース・スクール・オブ・ビジネス教授は、米国、中国、ロシア、中東と原油その他の商品に関する地政学的リスクの管理について語りました。

・ アンドリュー・ロー、マサチューセッツ工科大学スローン・スクール・オブ・ビジネス教授は、市場参加者が間違いを犯しつつも学習し市場に順応する結果、主流のアルファが「ベータ」となって市場そのものが変わっていくため、標準的なパラダイムが通用しなくなっている現在の市場環境を「順応市場仮説」という枠組みで分析しました。

年次大会で行われた講演のうち主要なものは、Webcast や Podcast の形で、CFA 協会のウェブ上で視聴することができます。<http://www.cfawebcasts.org/>

会場がディズニー・ワールド・リゾートということもあり、家族連れで参加した会員も目立ち、ディズニーズ・グランド・フロリダ・リゾートホテルとハリウッド・スタジオにおける 2 回のレセプションでは、楽しい雰囲気の中、会員同士交流を深めていました。

合わせて開催された CFA 協会の年次総会では、ブライアン・シンガー理事長、およびジョン・ロジャース会長が会員に向けて、CFA 協会の活動の進展と、経済危機の中における協会の役割について語りました。二人のスピーチも、YouTube 上で視聴できます。

ブライアン・シンガー：<http://www.youtube.com/watch?v=D5a05Pw9Du8>

ジョン・ロジャース：<http://www.youtube.com/watch?v=Y2haXBuAJH0>

年次総会では、CFA 協会理事会 (Board of Governors) の改選結果も公表され、日本 CFA 協会会長のチャールズ・J・ヤン、CFA が新たに理事として、他 2 名の再任者と共に選任されました。第 63 回年次大会は、来年 5 月 16 日から 19 日まで、米国マサチューセッツ州ボストンにて、同市 CFA 協会主催により開催される予定です。

2. 金融危機を背景にした CFA センターの施策について

欧州委員会 (EC) の域内市場担当委員である Charlie McCreevy 氏は、2008 年 7 月 17 日付けの声明で、CFA Institute Centre for Financial Market Integrity (以下 CFA センター) の格付機関の改革に関する見解、特に十分な透明性と改善された格付のプロセスに賛同の意を表し、その後 9 月上旬に欧州証券規制当局委員会 (CESR) より証券監督者国際機構 (IOSCO) に提出された格付機関改革に関する最終案には、CFA センターの提案が多く含まれていました。このように CFA 協会の倫理規範に対する注目は、特にここ数年で大幅に高まってきています。

CFA センターでは、同倫理規範に基づき、様々な提言を行ってきています。例えば、議会や規制当局での証言 (2008 年度に 50 の意見書を提出)、規制当局や金融業界代表者との会談、資産運用業界に対する教育機会の提供、メディアを通じた各種提言 (2008 年 7-10 月に世界の約 70 のニュースで CFA 協会の取組みが紹介されました) などが挙げられます。このような活動の目標は、CFA 協会のメッセージ、即ち①より高い倫理規範の必要性、②透明性の高い財務報告基準の必要性、③実効性の高い金融業界自主規制の必要性、などを世に問い続けることにあり、これらは金融危機においても投資家の適切な判断に大いに寄与するものと考えられます。

◆CFA センターの提言の例

SIV(Structured Investment Vehicles)について... オフ・バランスの Structured Investment Vehicles のオン・バランス化、および時価評価の必要性を提唱し、国際会計基準審議会 (IASB)、財務会計基準審議会 (FASB)、米国証券取引委員会 (SEC) などに意見書を提出。

時価評価について... 時価評価が金融危機を深める要因となっているとする記事 (フィナンシャル・タイムズ) に反論すべく、CFA センターは適切な時価評価のみが透明性と公正なレポートिंगをもたらすと欧米政府に主張し、エコノミスト、ニュースウィーク、ロイターといったメディアに対し、時価評価における投資家の見解をラウンドテーブル・ディスカッションを通して提供しています。

格付機関改革について... CFA センターは金融危機の発生前から、格付機関や金融当局に対し、格付付与方法の改善や仕組商品の格付けと通常の企業格付けの区別、格付機関の利益相反への対処などを提唱してきています。

アセットバック証券 (ABS) について... CFA センターは 2003 年に、アセットバック証券の不十分な情報開示に懸念を示す書簡を欧州証券規制当局委員会 (CESR) に送付し、翌年の米国証券取引委員会 (SEC) による情報開示の改善案に賛成を表明すると同時に、ABS 発売の 24 時間以上前に目論見書を投資家に提供すべきである旨を提言しました。日本の金融庁にも同様の提言を 2008 年 3 月に行なっています。

◆今後の方針

CFA 協会と CFA センターでは、規制改革や法改正案に対し、今後とも CFA 協会会員やボランティアの皆様の意見聴取などの協力を呼びかけて参ります。今回の金融危機に関しても、金融構造の再構築、空売り、時価評価会計、自己資本規制やリスク管理などの分野で、早急な対応を呼びかけています。各市場における規制や法令が投資家の視点に配慮し適切に行われるよう、他の投資家関連組織と連携して働きかけて参ります。そして、投資家倫理規範の更なる改善、市場・発行体・資産運用会社のより高い透明性の確保、政府当局による相場操縦牽制や処罰を推進するために効果的な業界自主規制のあり方の追求などを、CFA 協会、CFA センター、そして約 10 万人の CFA 会員が協力し合って、引き続き推進して参ります。

1. 尾藤 峰男(びとう みねお)、CFA 日本 CFA 協会 理事



【専門分野】 個人への資産運用アドバイス、ライフプラン設計

【略歴】

1978年早稲田大学法学部卒業。日興証券株式会社入社。国際金融部門、事業法人、個人への投資アドバイスなどに携わる。英国、カナダ、オーストラリア3カ国に勤務。2000年7月、びとうファイナンシャルサービス株式会社を設立、代表取締役役に就任。完全独立系のライフプランニングと金融資産運用アドバイスサービスを提供。商工会議所での講演、日本経済新聞、日経マネーなどコメント、執筆多数。国際経営者協会会員、東京商工会議所会員、日本FP協会CFP®認定者

ホームページ: <http://www.bfsc.jp/>

●CFA 資格を取得した理由、

CFAは2005年に取得しました。その前にCFPや日本の証券アナリスト資格を取得し、その流れで最高峰のCFAも取ってやろうと思ったのがきっかけです。あとで取っておけばよかったと後悔したくない気持ちが強かったようです。

●現在の業務上でのトピック

CFAプログラムで学んだモンテカルロシミュレーション、平均・分散最適化プログラム、リスクアルゴリズムなどを活用し個人の資産運用アドバイスを提供して、お客様から信頼をいただいております。あらためてCFAの威力を感じます。CFAを取っていなかったらこうはいかなかったと思っています。

●オフタイムの過ごし方

仕事の後や週末にジムでのジョギング、ウェイトトレーニングを週3回程度やっています。はじめて15年くらいになるでしょうか。

●最近印象に残った書物

最近ではニーチェの「ツァラストラ」には感動しましたね。「『易経』一日一言」もよかったですね。今読んでいるのは、「二宮金次郎の一生」です。ブログでは、書評を主に書いていますので、忙しい方には要約版のような形で活用してもらえるのではと思っています。

「CFA & CFP 資産運用アドバイザー尾藤峰男のブログ」 <http://blog.goo.ne.jp/dreamct-1/>

●好きな都市・街は

ニューヨークでしょうか。あそこは、世界の中心でありながら人のおいが感じられる街ですね。

●好きな言葉は

「決してあきらめない」です。あきらめればその時点で負けですが、あきらめなければ負けることはありません。

3. CFA Japan 主なイベント

6月以降のイベントの詳細・お申し込みは協会ホームページをご参照ください。報道関係の皆様は無料でご招待いたしますので、広報担当までお問い合わせください。

<http://www.cfaj.org/Lists/Events/calendar.aspx>

「金融・運用業界キャリアセミナー」

最近の採用・雇用状況や、採用側から期待するキャリア戦略や、CFAプログラムを通じた成功体験、情報交換の機会を提供します。

- 日時：6月20日（土）13時30分より
- 会場：住友スカイルーム（Room 5, 6）、新宿住友ビル 47階、新宿区西新宿 2-6-1
- 料金：無料
- スピーカー：Anthony Truchot, (Consultant, East West Consulting K.K.)、岡崎義晴、CFA（ピクテ投信投資顧問 代表取締役社長）、菊地正俊、CFA（メリルリンチ日本証券 調査部 マネージングディレクター チーフ株式ストラテジスト）ほか

「CFA Japan セミナー：映画「ハゲタカ」で描かれた金融のイメージと実像」

公開中の映画「ハゲタカ」では、M&Aや投資といったファイナンス関連の活動が、経済の中でどのように活用され、企業の活性化・再生にどのように貢献しているのかを、魅力的なストーリーとキャスティングで描き、国内外で高い評価を得ています。現役のプライベート・エクイティ投資マネージャーとしてドラマならびに映画の金融・経済考証を務めた勝又氏が、PE投資、M&Aやリーマンショックという社会現象などの題材を映画に落とし込む製作スタッフの苦労、さらにこうしたドラマ・映画が社会的に高い評価を得た背景についての考察などをお話いただきます。

- 日時：6月22日（月）19時00分より
- 会場：東京証券会館 9階 会議室1,2（中央区日本橋萱場町1-5-8）
- 料金：会員：無料 非会員2000円
- スピーカー：勝又 幹英、CFA（ニュー・フロンティア・キャピタル・マネジメント株式会社、代表取締役社長）

「CFA Japan セミナー：米国市場の非効率性」

- 日時：6月24日（水）19時00分より
- 会場：ベルサーレ八重洲 2階ルームA（中央区八重洲1-3-7 八重洲ファイナンスビル）
- 料金：会員：無料 非会員2000円
- スピーカー：Robert A. Haugen, President, Haugen Custom Financial Systems
Nardin L. Baker, Senior Portfolio Manager, Global Quant team, Alfred Berg

「日本 CFA 協会 設立10周年記念イベント」

- 日時：7月2日（木）18時30分より
- 会場：産経プラザ ルーム301-304 千代田区大手町1-7-2
- 料金：CFA会員およびCFA資格候補者3000円、09年CFAプログラム受験者5000円、一般10000円
- スピーカー：岡本和久 日本CFA協会名誉会長、Jonathan Duchac氏（教授, Professor of Accounting and Director of Program in Risk Management, Wake Forest University, Vienna University of Business and Economics）

CFA 協会 概要

CFA Institute は、CFA[®](Chartered Financial Analyst[®])および CIPM (Certificate in Investment Performance Measurement)のカリキュラムと試験を世界的に運営しているほか、研究発表、職業能力開発プログラムの実施、投資業界のための倫理に基づく職業規範と業績報告基準の自主的策定を行っている世界的な非営利団体です。133 の国と地域で約 100,000 名のメンバー(約 83,000 名の CFA 資格者を含む)が所属し、また 57 の国と地域に 136 の拠点があります。

<本部>

アジア太平洋地域—香港

米国・カナダ・南米地域—シャーロットビル(米・ヴァージニア州)、ニューヨーク(米・ニューヨーク州)

ヨーロッパ・中近東—ロンドン

<ホームページ・アドレス>

www.cfainstitute.org

「CFA[®] (Chartered Financial Analyst)[®]」概要

CFA[®]は、証券分析及び運用アドバイスにおいて世界的に認められている専門資格で、現在、133 の国と地域に約 83,000 名の資格者がいます。CFA の試験は、複雑化とグローバル化の進む投資運用実務を反映し、極めて高度な水準に照らして受験者を評価するため、この資格を認定されることは、雇用者からも顧客からも大きな敬意を持って受けとめられています。

日本 CFA 協会 (CFA Society of Japan) 概要

日本における CFA 資格者や受験者に対して、専門知識の向上と相互交流の場を提供する非営利組織。倫理規範や職業行為基準、資産運用や調査に関する専門能力の向上と普及をめざし、会員向けに金融市場、財務会計、経済動向などをテーマとした講演会、セミナー、勉強会などを開催しています。また会員相互間の交流会なども行なっています。

所在地: 東京都中央区日本橋本町 1-3-8 共同ビル(昭和)6 階

Tel: 03-3517-5471 Fax: 03-3517-5472

設立: 1999 年

代表者: チャールズ J. ヤン, CFA

ホームページ・アドレス <http://www.cfaj.org>